

令和4年度本部事業報告

法人本部では、民間企業や教育機関、県行政及び市町村等に対し、有料での手話通訳者等派遣事業、講師等派遣事業を行った。手話通訳者派遣は完全に回復しコロナ以前より微増の派遣人数となった。要約筆記者派遣は4割強の回復、講師派遣は9割弱まで回復した。

神奈川県委託事業の神奈川県盲ろう者支援センター運営事業は、盲ろう者通訳・介助員派遣、盲ろう者通訳・介助員養成講習会、現任研修会、相談事業を行った。現任研修会は一部オンラインでの実施を導入し、参集型の際は感染予防対策を講じ開催した。

遠隔手話通訳サービス事業は、県機関、県内65の警察署、保健所や医療機関の新型コロナウイルスの検査・診察の通訳を行った。

また、聴覚障がい児支援中核機能設置・運営事業を受託した。

その他、相模原市および横須賀市からの委託事業として手話通訳者養成事業等を行った。

1 令和4年度の特徴と課題

(1) 神奈川県盲ろう者支援センター運営事業について

令和元年度より開始した相談事業は、相談窓口を神奈川県聴覚障害者福祉センター（藤沢市）内と神奈川県横浜西合同庁舎（横浜市西区）内の2箇所に設置している。横浜西合同庁舎は、開所時には藤沢同様に事前予約により相談員が赴く運用であったが利用実績がないことから令和3年10月から毎月第1・第3水曜日9時～11時に定期的な開所を実施した。その後定期開所に訪れる利用者はなかったが、一方で事前予約による相談者が一定数あったことから、令和5年1月をもって定期開所を終了し、事前予約のみの運用としている。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、盲ろう者通訳・介助員派遣事業では、可能な範囲で感染防止対策を講じ特に制限等を設けることなく派遣を行った。また、盲ろう者相談事業では、訪問することにより利用者をコロナに感染させてしまうリスクがあることから、基本的には来館による相談にて対応した。

本来であればニーズの掘り起こしを含めて、盲ろう者及び家族や施設等への支援などを実施し相談事業の拡充に努めたいところではあるが、基礎疾患のある盲ろう者も少なくないことから新型コロナウイルス感染のリスクにより控えざるを得なかった。

盲ろう者通訳・介助員養成講習会は、新型コロナウイルスワクチン接種拡大もあり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて実施した。会場では身体的距離の確保、会場の換気、適宜フェイスシールド着用、アルコール消毒液の配布などの対策を行った。

盲ろう者通訳・介助員現任研修会も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、10

回の研修のうち1回は参集とオンラインのハイブリット型で、3回はオンライン形式で実施した。

(2) 相模原市、横須賀市からの事業委託

障害者総合支援法に定める意思疎通支援事業で、政令指定都市および中核市において手話通訳者養成が必須事業化されたため、相模原市と横須賀市から養成事業の委託を受けて継続した。また、相模原市から要約筆記者認定試験、横須賀市から要約筆記者認定試験と、パソコン要約筆記者の養成の委託を受けた。

2 意思疎通支援者の派遣等の事業

(1) 市町村意思疎通支援事業への対応

聴覚障がい者個人への手話通訳者派遣は市町村の必須事業であるが、登録者が少ないことなどの理由により、19市町から手話通訳者派遣申請があり対応した。派遣件数は昨年度対比で126%、派遣人数は昨年度対比で131.2%と増加しているが、コロナウイルス感染拡大以前と比べると7.5割程度に留まっている。

要約筆記者については、12市町から要約筆記派遣者申請があり対応した。派遣件数は昨年度対比で124.3%、派遣人数は昨年度対比で114.9%と増加し、コロナウイルス感染拡大以前よりも上回る状況となった。

ア 手話通訳者派遣

(ア) 件数・派遣人数実績

区 分	派遣件数	派遣人数
相模原市	24 件	32 人
平塚市	70 件	79 人
鎌倉市	11 件	14 人
藤沢市	2 件	4 人
小田原市	8 件	8 人
茅ヶ崎市	2 件	4 人
秦野市	1 件	1 人
厚木市	1 件	1 人
伊勢原市	22 件	31 人
座間市	9 件	10 人
綾瀬市	4 件	8 人
大磯町	17 件	24 人
二宮町	3 件	4 人
大井町	4 件	4 人
松田町	1 件	1 人

開成町	1件	1人
箱根町	1件	1人
湯河原町	1件	1人
愛川町	36件	36人
合計	218件	265人

(イ) キャンセル数

区 分	件数	人数
未手配及び調整中	0件	0人
手配済み	14件	19人
派遣者不足	0件	0人
計	14件	19人

※うち新型コロナウイルス感染症対策に関するキャンセル 1件、1人

イ 要約筆記者派遣

(ア) 件数・派遣人数実績

区 分	派遣件数			派遣人数		
	手書き	パソコン	計	手書き	パソコン	計
相模原市	1件	3件	4件	1人	8人	9人
平塚市	4件	8件	12件	8人	14人	22人
秦野市	2件	0件	2件	4人	0人	4人
厚木市	0件	2件	2件	0人	3人	3人
大和市	0件	2件	2件	0人	2人	2人
伊勢原市	7件	0件	7件	7人	0人	7人
海老名市	0件	2件	2件	0人	3人	3人
南足柄市	0件	1件	1件	0人	2人	2人
綾瀬市	0件	7件	7件	0人	17人	17人
寒川町	1件	0件	1件	1人	0人	1人
二宮町	0件	1件	1件	0人	2人	2人
大井町	5件	0件	5件	5人	0人	5人
合計	20件	26件	46件	26人	51人	77人

(イ) キャンセル数

区 分	件数	人数
未手配及び調整中	0 件	0 人
手配済み	1 件	1 人
派遣者不足	0 件	0 人
計	1 件	1 人

※うち新型コロナウイルス感染症対策に関するキャンセル 0 件、0 人

(2) 手話通訳者派遣

企業や公共団体等が実施する会議や行事等で、申請者が派遣費用を負担する場合に、手話通訳者を派遣した

前年度対比では派遣件数は 129.6%、派遣人数は 132.2%と大幅に増加した。新型コロナウイルスの感染拡大により令和 3 年度は、7.5 割程度の回復であったが、令和 4 年度は派遣人数は約 107%とコロナ前の派遣人数を上回る実績となった。

また、感染予防対策を継続し申請者へは感染防止対策の確認のためのチェックシートの提出を依頼し、手話通訳者へは依頼書に安全確認チェックシートを同封するとともに現場でフェイスシールド、透明マスク、不織布マスクの着用をお願いした。そのため、必要に応じて、フェイスシールド、透明マスク、不織布マスクを配付した。

ア 派遣件数・派遣人数実績

区 分		派遣件数	合計	派遣人数	合計
企 業 等	県センター	170 件	260 件	289 人	452 人
	川崎情文	90 件		163 人	
県 機 関	県センター	173 件	175 件	298 人	302 人
	川崎情文	2 件		4 人	
教 育 機 関	県センター	126 件	131 件	268 人	278 人
	川崎情文	5 件		10 人	
司 法 機 関	県センター	73 件	93 件	81 人	105 人
	川崎情文	20 件		24 人	
政 党 関 係	県センター	29 件	34 件	57 人	63 人
	川崎情文	5 件		6 人	
個 人	県センター	1 件	1 件	2 人	2 人
	川崎情文	0 件		0 人	
そ の 他	県センター	230 件	514 件	390 人	858 人
	川崎情文	284 件		468 人	

合 計	県センター	802 件	1,208 件	1,385 人	2,060 人
	川崎情文	406 件		675 人	

イ キャンセル数

区 分		件数	合計	人数	合計
未手配及び調整中	県センター	4 件	28 件	9 人	59 人
	川崎情文	24 件		50 人	
手配済み	県センター	64 件	92 件	88 人	132 人
	川崎情文	28 件		44 人	
派遣者不足	県センター	0 件	5 件	0 人	10 人
	川崎情文	5 件		10 人	
計	県センター	65 件	125 件	91 人	201 人
	川崎情文	57 件		104 人	

※うち新型コロナウイルス感染症対策に関するキャンセル

県センター 2 件、3 人／川崎情文 2 件、3 人

ウ オンラインでの手話通訳派遣件数・人数

区分	派遣件数	合計	派遣人数	合計
県センター	248 件	335 件	429 人	588 人
川崎情文	87 件		159 人	

(3) 要約筆記者派遣

企業や教育機関および法人本部の事業や会議などに派遣を行っている。

コロナ禍を乗り越え、参集型の講演会などの依頼も増え始めたが、コロナ前までの回復には至っていない。遠隔での情報保障については、ハイブリッド型といわれるオンラインでの参加者と現地参集型の併用で行う機会が増えており、今後も需要があるのではないかと思われる。

利用者及び要約筆記者の安全を守るために、引き続き主催者へは感染防止対策としてチェックシートの提出及び手指消毒薬の提供をお願いし、要約筆記者へはマスク・フェイスシールドの着用、手指消毒、および機材等の消毒をお願いした。そのため、必要に応じて不織布マスク・フェイスシールドを配付した。

令和4年度は、昨年度対比では、派遣件数は82.6%、派遣人数は87.5%と8割方の回復に収まっている。

ア 派遣件数・派遣人数 実績

区 分		派遣件数				派遣人数			
		手書き	パソコン	小計	合計	手書き	パソコン	小計	合計
企 業 等	県センター	7件	14件	21件	23件	16人	50人	66人	74人
	川崎情文	0件	2件	2件		0人	8人	8人	
県 機 関	県センター	2件	15件	17件	17件	3人	56人	59人	59人
	川崎情文	0件	0件	0件		0人	0人	0人	
教 育 機 関	県センター	1件	10件	11件	11件	2人	37人	39人	39人
	川崎情文	0件	0件	0件		0人	0人	0人	
司 法 機 関	県センター	0件	0件	0件	2件	0人	0人	0人	8人
	川崎情文	1件	1件	2件		2人	6人	8人	
政 党 関 係	県センター	0件	1件	1件	3件	0人	4人	4人	6人
	川崎情文	2件	0件	2件		2人	0人	2人	
個 人	県センター	0件	0件	0件	0件	0人	0人	0人	0人
	川崎情文	0件	0件	0件		0人	0人	0人	
そ の 他	県センター	6件	17件	23件	48件	10人	62人	72人	138人
	川崎情文	14件	11件	25件		22人	44人	66人	
合 計	県センター	16件	57件	73件	104件	31人	209人	240人	324人
	川崎情文	17件	14件	31件		26人	58人	84人	

イ キャンセル数

区 分		件数	合計	人数	合計
未手配及び調整中	県センター	1件	19件	4人	76人
	川崎情文	18件		72人	
手配済み	県センター	7件	14件	35人	63人
	川崎情文	7件		28人	
派遣者不足	県センター	0件	0件	0人	0人
	川崎情文	0件		0人	
計	県センター	8件	33件	39人	139人
	川崎情文	25件		100人	

※うち新型コロナウイルス感染症対策に関するキャンセル

県センター 0件、0人／川崎情文 0件、0人

ウ オンラインでの要約筆記者派遣件数・人数

区分	派遣件数				派遣人数			
	手書き	パソコン	小計	合計	手書き	パソコン	小計	合計
県センター	0件	12件	12件	18件	0人	47人	47人	71人
川崎情文	0件	6件	6件		0人	24人	24人	

(4) 講師等派遣

手話講習会や手話サークル、要約筆記サークルなど地域において聴覚障がいに関する理解を深める学習会などに講師等を派遣し、手話や要約筆記の普及、聴覚障がい者への理解の促進等により、聴覚障がい者が社会参加しやすい環境づくりを目指す事業である。

大学の手話指導は、昨年度はオンライン授業を中心で行われたが、令和4年度はほとんどが対面授業による手話指導を行うことが出来た。大学に限らず他の機関でも参集型の手話講習の実施が多く行われた。

前年度対比では、派遣件数は125.3%、派遣人数は122.5%と増加した。新型コロナウイルスの感染拡大により令和3年度は7.3割程度の回復であったが、令和4年度の派遣人数は87%と9割程度まで回復することが出来た。

ア 派遣件数・派遣人数実績

区 分	派遣件数	派遣人数
企 業 等	6件	11人
県 機 関	17件	42人
市町村機関	26件	40人
教育機関	53件	105人
サークル	7件	7人
そ の 他	10件	18人
合 計	119件	223人

イ キャンセル数

区 分	件数	人数
未手配及び調整中	0件	0人
手配済み	2件	2人
派遣者不足	0件	0人
計	2件	2人

※うち新型コロナウイルス感染症対策に関するキャンセル 1件、1人

(5) 盲ろう者通訳・介助員派遣

主に行政機関等が主催する会議や講演会等への派遣において、主催者である行政機関等が申請者となり盲ろう者通訳・介助員の派遣費用を負担する派遣事業を実施した。

その他の増加の要因は、盲ろう者の入居する施設から定期的なイベント等のための派遣申請による。

派遣件数は昨年度対比で 204.0%、派遣人数は昨年度対比で 242.0%となった。

ア 派遣件数・派遣人数実績

区 分	派遣件数	派遣人数
企 業 等	1 件	2 人
県 機 関	24 件	48 人
市 町 村	0 件	0 人
教育機関	0 件	0 人
司法機関	0 件	0 人
個 人	0 件	0 人
そ の 他	22 件	25 人
合 計	47 件	75 人

イ キャンセル数

区 分	件数	人数
未手配及び調整中	0 件	0 人
手配済み	2 件	2 人
派遣者不足	0 件	0 人
計	2 件	2 人

※うち新型コロナウイルス感染症対策に関するキャンセル 0 件、0 人

3 神奈川県からの委託事業

(1) 神奈川県盲ろう者支援センター運営事業

事業内容は、神奈川県盲ろう者通訳・介助員派遣事業及び盲ろう者通訳・介助員養成研修事業及び盲ろう者通訳・介助員現任研修事業並びに盲ろう者相談事業。

ア 盲ろう者通訳・介助員派遣

県より業務委託を受け、視覚と聴覚の両方に障がいのある方（盲ろう者）にコミュニケーションの支援や外出時等の移動介助等を行う盲ろう者通訳・介助員を派遣する事業を実施した。

新型コロナウイルス感染症がなかなか収束を見せないが、盲ろう者の社会参加には通訳・介助員の派遣が欠かせないため、盲ろう者と通訳・介助員ともに感染予防をお願いしながら通常の派遣を実施した。

通訳・介助員が派遣に出向く際、盲ろう者と通訳・介助員の健康を守り、安全な派遣が実施できるよう引き続き「新型コロナウイルス感染拡大防止と通訳・介助員の安全確保チェックシート」を作成し、通訳・介助員への依頼書に同封した。

感染予防のため、1件の派遣につき1枚のマスク配付と、必要に応じてフェイスシールド等を引き続き配付し現場に応じて着用をお願いした。

触手話の技術を持つ通訳・介助員がなお不足していることに加え、派遣に出向くことによる新型コロナウイルスの感染の懸念や家族からの反対等により派遣を辞退する通訳・介助員が未だ複数おり、派遣の調整に苦慮している。

本来会議等に触手話で通訳を受ける盲ろう者への通訳・介助員の派遣においては、必要に応じて3人派遣を実施したいところではあるが、触手話で会議等に対応可能な通訳・介助員が不足する中、複数の盲ろう者が参加する会議の場面に3人ずつ通訳・介助員を派遣する人材的な余裕がないことから実施できずにいる。

派遣件数は、昨年度対比で123%、派遣人数は昨年度対比で124%となった。

(ア) 登録者数

- a 登録盲ろう者通訳・介助員数 399人
- b 登録盲ろう児者数 55人

(イ) 派遣件数・派遣人数実績

区 分	派遣件数	派遣人数
公 的 機 関	53 件	61 人
医 療 機 関	345 件	358 人
会 議 等	162 件	324 人
冠 婚 葬 祭	0 件	0 人
大会・行事等	34 件	69 人
ゆりの会行事等	77 件	128 人
学 校 関 係	3 件	5 人
就 職 ・ 就 学 等	12 件	12 人
買 物	630 件	637 人
そ の 他	1,140 件	1,474 人
合 計	2,456 件	3,068 人

(ウ) キャンセル数

区 分	件数	人数
未手配及び調整中	53 件	60 人
手配済み	32 件	36 人
派遣者不足	19 件	24 人
計	104 人	120 人

※うち新型コロナウイルス感染症対策に関するキャンセル 7 件、7 人

イ 盲ろう者通訳・介助員の養成

県より業務委託を受け、通訳・介助員を養成する事業を実施した。

新型コロナウイルス感染予防のため必要に応じてフェイスシールドの着用と、個々にアルコール消毒液を配付して適宜手指消毒を行いながら実施した。

(ア) 回 数 全 15 回 (44 時間 45 分)

(イ) 日 時 9 月 2 日 (金)、9 日 (金)、16 日 (金)、30 日 (金)
10 月 7 日 (金)、14 日 (金)、21 日 (金)、28 日 (金)
11 月 4 日 (金)、11 日 (金)、18 日 (金)、25 日 (金)
12 月 2 日 (金)、9 日 (金)、16 日 (金)

(ウ) 会 場 神奈川県聴覚障害者福祉センター、ダイエー藤沢店、
小田急江ノ島線片瀬江ノ島駅等

(エ) 対 象 者 神奈川県内に在住・在勤・在学する、18 歳以上 (申込時) で、基本的
的に講習会全回の受講が可能な方。また、修了後は、通訳・介助員として登録し派遣を担える方。

(オ) 受講者数 25 人

(カ) 修了者数 20 人

ウ 盲ろう者通訳・介助員現任研修

県より業務委託を受け、通訳・介助員として必要な通訳技術、介助技術及び知識を習得することにより資質の向上を図る登録通訳・介助員の現任研修を実施した。

特に不足している触手話の通訳技術向上のための技術研修を複数回取り入れ、コロナ禍でも参加可能なオンデマンドと参集による研修を実施した。

令和 4 年度より年 1 回の受講が義務付けられたことにより、各回多くの参加があった。

オンデマンド視聴による参加者人数は、レポートの提出を以って参加とみなした。

(ア) 第 1 回

a 日 時 令和 4 年 9 月 14 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00

b 内 容 「車いす操作について学ぶ」

- c 講 師 池田 圭介 氏 (社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会職員)
- d アシスタント 田村 みゆき 氏 (社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会職員)
- e 参加人数 29 人
- (イ) 第 2 回
- a 日 時 令和 4 年 10 月 9 日 (日) 10 : 00 ~ 12 : 30
- b 内 容 「状況説明について一緒に考えよう」
- c 講 師 松田 高加子 氏 (音声ガイド制作者)
- d 参加人数 54 人
- (ウ) 第 3 回
- a 日 時 令和 4 年 10 月 15 日 (土) 13 : 30 ~ 16 : 30
- b 内 容 「移動介助のヒヤリハット・現場で困ったこと」
- c 講 師 小平 純子 氏 (東京盲ろう者友の会職員)
- d 参加人数 34 人
- (エ) 第 4 回
- a 配信期間 令和 4 年 11 月 15 日 (火) ~ 12 月 13 日 (火)
- b 内 容 「触手話のポイント (実技①事前プログラム)
~盲ろう者から学ぼう~」
- c 協 力 者 川島 朋亮 氏 (神奈川県登録盲ろう者)
清水 実浩 氏 (神奈川県登録盲ろう者)
陶山 幸一 氏 (神奈川県登録盲ろう者)
高橋 和代 氏 (神奈川県登録盲ろう者)
中川 誠二 氏 (神奈川県登録盲ろう者)
- d 参加人数 45 人 (視聴回数 254 回)
- (オ) 第 5 回
- a 配信期間 令和 4 年 12 月 10 日 (土) ~ 令和 5 年 1 月 6 日 (金)
- b 内 容 「盲ろう児者との関わりかた Part3 ~ 個々に応じた関わりかた
~」
- c 協 力 者 貝嶋 麗奈 氏 (神奈川県登録盲ろう者)
貝嶋 敦子 氏 (保護者)
- d 参加人数 48 人 (視聴回数 228 回)
- (カ) 第 6 回
- a 日 時 令和 4 年 12 月 14 日 (水) 9 : 30 ~ 12 : 00
- b 内 容 「触手話実技② 基本の振り返りと実習」
- c 講 師 石井 典子 氏 (神奈川県登録盲ろう者通訳・介助員)
小泉 春実 氏 (神奈川県登録盲ろう者通訳・介助員)
- d 参加人数 11 人
- (キ) 第 7 回
- a 日 時 令和 5 年 1 月 7 日 (土) 12 : 30 ~ 16 : 00

- b 内 容 「触手話実技③触手話の実技 ～個々に応じた表現を学ぶ～」
- c 講 師 石井 典子 氏（神奈川県登録盲ろう者通訳・介助員）
高柳まり子 氏（神奈川県登録盲ろう者通訳・介助員）
川島 朋亮 氏（神奈川県登録盲ろう者）
清水 実浩 氏（神奈川県登録盲ろう者）
高橋 和代 氏（神奈川県登録盲ろう者）
中川 誠二 氏（神奈川県登録盲ろう者）

d 参加人数 18人

(ク) 第8回

- a 配信期間 令和5年1月18日（水）～令和5年2月13日（月）
- b 内 容 「先天性盲ろう児・者のコミュニケーションと支援」
- c 講 師 三科 聡子 氏（宮城教育大学教育学部准教授）
- d 参加人数 24人（視聴回数186回）

(ケ) 第9回

- a 内 容 「人生を豊かにする傾聴とは」
- d 講 師 波多野 あき子 氏（子育てプログラムトリプルP
認定ファシリテーター）

c 参集型

(a) 日 時 令和5年1月21日（土）18：00～20：00

(b) 参加人数 18人

d オンデマンド型

(a) 配信期間 令和5年2月15日（水）～3月8日（水）

(b) 参加人数 71名（視聴回数284回）

(コ) 第10回

- a 日 時 令和5年3月1日（水）10：00～12：00
- b 内 容 「耳のしくみと疑似難聴体験」
- c 講 師 大本 純子（神奈川県聴覚障害者福祉センター主事）
- d 参加人数 37人

エ 盲ろう者通訳・介助員頸肩腕障害健診

健診は、手話通訳者および要約筆記者を対象として実施している健診に加わり、神奈川県盲ろう者通訳・介助員の内、令和3年度中に60回以上の派遣業務を担っている者を対象に行った。

(ア) 対象者数 9人

(イ) 受診者数 6人

(ウ) 健診結果

区 分	人数
A 異常所見を認めません	6 人
A2 有所見健康	0 人
B1 要経過観察	0 人
B2 経過観察中	0 人
C1 要精密検査	0 人
C2 治療中	0 人

オ 相談事業

県内在住の盲ろう者本人とその家族や、盲ろう者とのコミュニケーションや支援などにお困りの方を対象とした相談支援を行う事業。

相談の受付は電話・メール・FAX等で行い、対面での相談は藤沢（県聴覚障害者福祉センター内）及び横浜（横浜西合同庁舎 6 階）ともに予約制にて実施している。横浜相談室では、令和 3 年 10 月より毎月 2 回予約不要の定期開所日を設けていたが、この定期相談日に予約なしで相談に訪れる利用者がなかったため、令和 5 年 1 月をもって横浜相談室の定期開所を終了した。

相談事業は令和元年より開始した事業であるが、毎年相談件数が増加しており、相談窓口の必要性を実感している。

盲ろう当事者の視力・聴力の低下による生活のしづらさや就労に関する相談には、関係機関と連携して対応した。

今後も様々な相談に対応できる様、相談室に白杖や点字に関する機器、生活を便利にするための展示品を新たに揃えた。

区分	件数
職業関係	190 件
コミュニケーション関係	53 件
対人関係	26 件
生活関係	87 件
福祉関係	37 件
医療関係	34 件
法律関係	0 件
機器	133 件
聴覚関係	1 件
視覚関係	0 件

派遣関係	238 件
その他	111 件
合計	910 件

*機器は白杖、遮光グラスなど生活用品も含む。

(2) 遠隔手話通訳サービス事業

県より委託を受け、県内の県機関におよそ 400、医療関係機関におよそ 1,500、県内の 65 の警察署に 2 次元バーコード (QR コード) を配布し、神奈川県聴覚障害者福祉センターと結んで、県機関に来られた聴覚障がい者と窓口の職員との手話通訳や医療機関との手話通訳サービスを提供する事業を行った。

医療機関等においては、新型コロナウイルスの検査及び診察に関する手話通訳を行った。

また、県民意見反映手続きにおいて手話対応に係る翻訳業務を行った。

ア 遠隔手話通訳の実績

所 属	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
県機関	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4
警察署	0	1	0	0	0	0	1	2	1	2	0	0	7
コロナウイルス診察	1	2	0	3	1	0	0	1	0	1	0	1	10
合 計	1	4	0	3	1	0	1	3	1	3	1	3	21

イ 県民意見反映手続きにおける手話対応に係る翻訳業務

件数 1 件

(3) 聴覚障がい児支援中核機能設置・運営事業の受託

保健・医療・福祉・教育の各関係機関と連携して聴覚障がい児に対する切れ目ない支援を実施するための中核機能を設置し、聴覚障がいの早期発見・早期支援体制を整備し支援を実施することで、聴覚障がい児の言語・コミュニケーション手段の発達・獲得を円滑にし、今後の社会生活をより豊かにすることを目的とする事業を受託した。

ア 関係機関とのネットワーク

関係機関との実務者レベルのミーティングの実施等により、ネットワークの構築を進めた。

実施日	関係機関名
令 4.12.22	藤沢市・神奈川県立平塚ろう学校
令 4.12.22	北里大学病院
令 5.2.28	相模原市・神奈川県立相模原中央支援学校
令 5.3.7	東海大学医学部附属病院
令 5.3.9	神奈川県立こども医療センター
令 5.3.10	小田原市・小田原市立病院
令 5.3.23	横須賀市立ろう学校・横須賀市療育相談支援センター

イ 家族支援

(ア) 相談支援

聴覚障がい児の家族を対象とした療育や日常生活等の相談、補聴器や活用できる社会資源等の情報提供や他の支援機関への繋ぎ等の支援を行った。

a 相談件数 191 件

【月別相談件数】

月	1月	2月	3月	合計
件数	70件	46件	75件	191件

b 相談利用実人数 59 人

【月別相談利用実人数】

月	1月	2月	3月	合計
人数	19人	18人	22人	59人

c 相談手段別件数

区分	来所	訪問	電話	ファックス	メール	手紙	オンライン	計
件数	162件	4件	15件	0件	7件	3件	0件	191件

d 相談者種類別・内容別件数

区分	聴力 検査	補聴器 関係	コミュニケーション 関係	指導機関 ・進路	医療 関係	福祉 関係	関係機関 連絡調整	その他	計
保護者	36件	36件	57件	15件	5件	11件	19	4件	183件
機関・施設	0件	0件	8件	0件	0件	0件	0	0件	8件
計	36件	36件	65件	15件	5件	11件	19	4件	191件

e 相談対象乳幼児属性件数（市町村別・年齢別）

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計
藤沢市	7件	49件	3件	17件	14件	7件	25件	122件
茅ヶ崎市	11件	0件	1件	9件	5件	2件	0件	28件
平塚市	0件	0件	0件	0件	0件	14件	0件	14件
鎌倉市	0件	0件	5件	0件	5件	0件	0件	10件
大和市	0件	0件	0件	9件	0件	0件	0件	9件
横須賀市	0件	0件	0件	0件	0件	0件	4件	4件
二宮町	0件	0件	0件	3件	0件	0件	0件	3件
葉山町	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件
計	19件	49件	9件	38件	24件	23件	29件	191件

f 相談経路パターン別件数

相談依頼者	聴覚センター支援	医療機関		市町村		児童発達支援センター	児童発達支援事業所	保育園	幼稚園	特別支援学校	その他	計
		耳鼻科	その他	療育	母子保健							
保護者	183件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	183件
医療機関	耳鼻科	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件
	その他	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
市町村	療育	4件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	4件
	母子保健	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件
児童発達支援センター	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
児童発達支援事業所	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
保育園	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
幼稚園	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
特別支援学校	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
その他	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
計	191件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	191件

※相談支援の件数等は、神奈川県聴覚障害者福祉センター来所等継続相談の乳幼児相談実績（令和5年1月～令和5年3月）と同じ。

(イ) 家族教室

聴覚障がい児や家族同士が交流する場として家族教室を開催した。

今回は、参集で実施した。保護者の悩みや課題を交流するとともに、聴覚障がい児を育てた経験のある保護者からの体験談、親子ふれあい体験も行った。

日時	会場	定員	申込者数	参加者数
令和5年2月22日（水） 13：30～15：00	神奈川県聴覚障害者福祉センター	20人	22人	14人 (7家族)

ウ 巡回支援

聴覚障がい児の通う地域の児童発達支援センター、障害児通所支援事業所、保育所、幼稚園等の職員に対して巡回して支援を行う事業。

令和4年度は、事業開始初年であったため、事業内容の説明及び情報交換を中心に行った。

実施日	巡回先
令 5.3.15	児童発達支援センター「ぷれっじ」(藤沢市)
令 5.3.17	児童発達支援センター「太陽の家しいの実学園」(藤沢市)

エ 聴覚障がい児の支援方法に係る研修の実施

聴覚障がい児の早期発見の促進や療育支援等の充実を図ることを目的に、神奈川県内の保育園、幼稚園、児童発達支援センター、児童発達支援事業所などの乳幼児が通う施設等の職員を対象に、聴覚障がいの基礎的な知識や、聴覚障がい乳幼児の早期発見・療育、保護者支援の必要性、聴覚障がい児との接し方等に関する研修会を実施した。

今回は、参集・オンライン併用で、実施した。

日時	内容	定員	申込者数	参加者数
令和5年3月8日(水) 13:00 ～ 15:00	講演「早期発見と早期支援および保護者支援」 講師 南村 洋子 氏 (東京都立大塚ろう学校講師、全国早期支援研究協議会会長) 情報提供 ・聴覚障がい乳幼児中核機能事業について ・神奈川県聴覚障害者福祉センターの聴覚障がい乳幼児支援について ・神奈川県立平塚ろう学校での聴覚障がい乳幼児支援について	参集 30人 OL なし	40人 参集 2人 OL 38人	30人 参集 1人 OL 29人

※「OL」は、オンライン。

※ 参加者数の「参集」、「OL」は内数。

4 相模原市・横須賀市からの委託事業

障害者総合福祉法の施行に伴い、意思疎通支援事業において、手話通訳者及び要約筆記者の養成は都道府県及び政令市・中核市の必須事業と定められた。これに関して相模原市と横須賀市から手話通訳者の養成において当法人に委託があり、神奈川県聴覚障害者福祉センターの神奈川県手話通訳者養成講習会等に参加、受験する形で実施した。

また、相模原市から要約筆記者認定試験、横須賀市からパソコン要約筆記者養成について当法人に委託があり、神奈川県聴覚障害者福祉センターの神奈川県要約筆記者養成講習会等に参加、受験する形で実施した。

(1) 手話通訳者

ア 試験

試験項目	日程	相模原市			横須賀市		
		申込者	受験者	合格者	申込者	受験者	合格者
手話通訳者全国統一試験	令和4年12月3日	4	4	1	1	1	0
令和4年度神奈川県手話通訳者認定試験 (小論文・面接)	令和5年3月11日	2	2	2	0	0	0
養成コース2022【通訳Ⅱ・Ⅲ】 選考試験「聞き取り通訳試験」	令和4年11月11日	2	2	2	4	4	3
養成コース2023【通訳Ⅰ】 選考試験「手話の読み取り試験」	令和4年12月10日	4	4	1	13	13	8
養成コース2023【通訳Ⅰ】 選考試験「面接試験」	令和5年1月14日	1	1	0	8	8	5

イ 講習会

講習会項目	期間	相模原市		横須賀市	
		受講者	延人数	受講者	延人数
2022.【通訳Ⅰ】	令和4年4月5日～令和4年10月25日	2	53	4	108
2023.【通訳Ⅰ】	令和5年1月25日～令和5年3月22日	0	0	5	40
2021.【通訳Ⅱ・Ⅲ】	令和4年4月6日～令和4年11月30日	0	0	0	0
2022.【通訳Ⅱ・Ⅲ】	令和4年11月15日～令和5年3月28日	2	31	3	48

ウ 研 修

研修項目	日 程	相模原市	横須賀市
		人数	人数
令和4年度合格者研修	令和5年3月25日	2	0

エ 認 定

認定項目	相模原市	横須賀市
	人数	人数
令和4年度神奈川県認定手話通訳者	2	0

(2) 要約筆記者

ア 試 験

項 目	期 日	相模原市			横須賀市		
		申込者数	受験者数	合格者数	申込者数	受験者数	合格者数
令和3年度神奈川県要約筆記者認定試験	令4.6.17 令4.6.24 令4.7.1	9人	9人	7人	1人	1人	1人
令和4年度神奈川県要約筆記者認定試験	令5.2.2 令5.2.9 令5.2.16	6人	6人	6人	1人	1人	0人

イ 講 習 会

項 目	期 間	受講人数	延受講人数
令和3年度神奈川県要約筆記者養成講習会 パソコン要約筆記クラス	令4.4.1～ 令4.6.3	横須賀市 2人	横須賀市 57人
令和4年度神奈川県要約筆記者養成講習会 パソコン要約筆記クラス	令4.4.21～ 令5.1.19	横須賀市 2人	横須賀市 41人

ウ 認 定

項 目	相模原市	横須賀市
令和3年度神奈川県要約筆記者認定試験手書き要約筆記者	5人	
令和3年度神奈川県要約筆記者認定試験パソコン要約筆記者	2人	1人
令和4年度神奈川県要約筆記者認定試験手書き要約筆記者	3人	
令和4年度神奈川県要約筆記者認定試験パソコン要約筆記者	3人	0人

※令和3年度相模原市の認定者には、手書き・パソコン両資格認定者1人を含む。

5 川崎市からの委託事業

新型コロナウイルス感染拡大予防のための、川崎市内のワクチンのブースター接種（集団接種・大規模接種）会場への、遠隔手話通訳の委託を受け実施した。

- (1) 期 間 令和4年4月1日（金）～令和5年2月28日（火）
- (2) 件 数 20件
- (3) 利用人数 25人

6 その他の事業

- (1) 手話通訳者・要約筆記者研修

ア 手話通訳者研修会

手話の読み取りに苦手意識を持つ通訳者が多く、読み取り通訳研修を希望される声が多くあったため、手話表出者を高齢者・若者とわけて2回行った。

また、2024年に合理的配慮が公的機関のみならず企業等も義務化となることから、どのように聴覚障がい者の環境が変わっていくのか、聴覚障がい者と関わるうえで手話通訳者が心得ておくことを研鑽した。

オンデマンド型によるオンライン配信の研修は受講者の都合に合わせて受講が出来ることから多くの通訳者に参加していただいた。

(ア) 第1回（オンライン型）

- a 配信期間 令和4年7月23日（土）～令和4年8月25日（木）
- b 内 容 技術研修（読み取り）
- c 講 師 加藤 悠 氏
- d 参加人数 119人

(イ) 第2回（オンライン型）

- a 配信期間 令和4年11月29日（火）～令和5年1月4日（水）
- b 内 容 「合理的配慮の義務化に伴う社会の変化や
通訳者として心得ておくこと」
- c 講 師 近藤 幸一 氏（社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会）
- d 参加人数 81人

(ウ) 第3回（オンライン型）

- a 配信期間 令和5年1月14日（土）～令和5年2月17日（金）
- b 内 容 技術研修（読み取り）
- c 講 師 桑原 豊 氏
- d 参加人数 96人

イ 要約筆記者研修会

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、参集型の研修ではなく、オンデマンド型の研修を行った。

現登録要約筆記者に必要な知識として、コンプライアンス関係の内容のビデオを視聴し、指定の課題に取り組んだ。

申込者は多かったが、期間が短かったからか実際に課題を完了できた方は少なかった。

(ア) 配信期間 令和5年3月3日(金)～令和5年3月17日(金)

(イ) 内 容

- ・「コンプライアンスの定義や基本」
- ・「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」
- ・「障害者の情報保障取得及び利用、意思疎通に関するコンプライアンス」
- ・「障害者福祉の法令順守の理解」

(ウ) 参加人数 23人（手書き8人、パソコン11人、両方4人）

(2) 映像制作に関する聴覚障害者への情報保障に係る事業

オンライン版 「黒岩知事と県民との対話の広場」YouTube 配信映像への字幕付与
字幕付与タイトル数 2件

(3) コピー機、印刷機の貸し出し

利用者の利便を図るため、ロビーにコピー機（コイン式）、印刷機を設置した。

印刷機利用件数 36件

7 関係団体・機関との連絡調整、会議等

(1) 神奈川県盲ろう者支援センター事業連絡会

事業の充実化を図るため、当事者団体の神奈川県盲ろう者ゆりの会および神奈川通訳・介助員の会と派遣事業及び養成講習会、現任研修の意見交換、情報交換等を行なった。

回 数 4回

構成団体 神奈川県盲ろう者ゆりの会
神奈川通訳・介助員の会
当協会

8 会 議

(1) 職員会議

会議名	回数	主な協議内容
本部事業課会議	9回	本部事業の実施等に関する情報共有及び課題検討等

(2) 専門事業別会議

会 議 名	回数	主な協議内容
盲ろう者ケース会議	10回	相談、支援ケースの処遇、対応等についての協議検討
盲ろう者担当者会議	9回	盲ろう者通訳・介助員に共通する課題の検討及び研修等の事業調整、情報共有、相互支援の調整等